

# こっこめ通信 02 2011

「不思議は当たり前」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

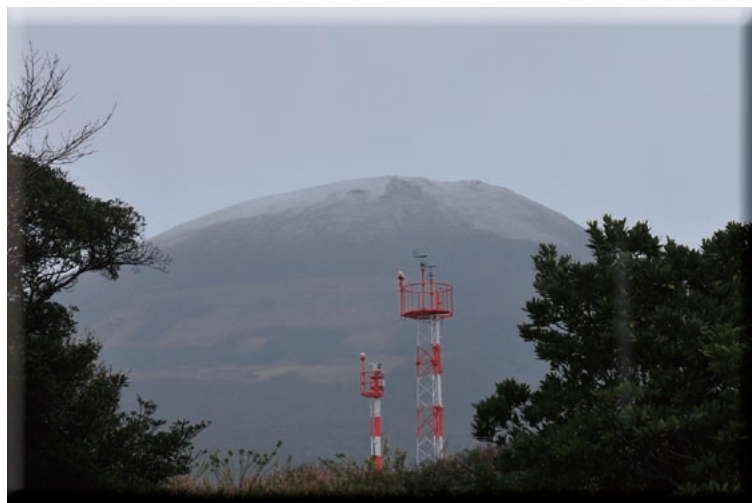
例年よりも寒く、乾燥しているため、島でもインフルエンザが猛威をふるっていました。月末になってどうにか落ち着いてきているようですが、まだまだ油断はできません。出歩くのを控えているためか、ビジターセンターの来館者も少ない日が続いています。みなさんもインフルエンザにはお気をつけ下さい。

さて、今回は「島にも雪が降った」「ビジターセンターの水槽を10倍楽しむ方法」についてのお話です。

## 島にも雪が降った

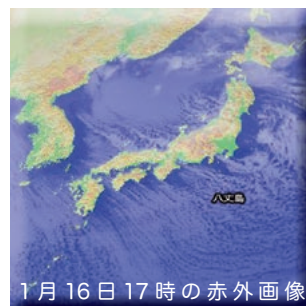
年末から年始にかけての大寒波により、島もとても寒い日が続きました。年が明けた1月2日、八丈富士の頂上付近が白くなり、八丈富士の初冠雪が確認されました。雪（霰？）が降ったのは頂上付近だけで、その後、青空が見えるほど天気が回復し、1時間と持たず、元の緑の山に戻ってしまいました。

そして第2弾の寒波がやってきた1月16日、山の上ではなく、平地でも降雪がありました。この時は、霰だけではなく、しっかりとした雪も降ってきました。強風に流される雪と霰は雪山の吹雪を思わせるほどでした。ビジターセンター周辺の赤いスコリアの道が白くなっては、すぐに溶け、また白くなっては溶けの繰り返し。夕方の降雪では雪だるまが作れるほどでした。八丈島測候所が廃止されたため、積雪の記録はありませんが、ビジターセンターの前がこれほど白くなったのは2006年2月4日以来の事です。（この時は3cmの積雪を記録）



2011年1月2日午前10頃 八丈富士初冠雪

八丈島の場合、西高東低の冬型が強くなると雪雲が若狭湾から伊勢湾に抜け、海上を通り、島まで吹き込みます。1月16日の赤外画像を見ると雲の流れ込みがはっきりと分かります。



気象庁の1ヶ月予報では2月2週目以降は暖かくなると発表されています。さて、予報通りに暖かくなるか？それともまた雪が降るか？

島の子供たちは雪が楽しみなのですが…。



2011年1月16日降雪の様子 左：吹雪のように降り続く雪 中：園内の道も雪化粧 右：雪だるま親子

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

# ビジターセンターの水槽を10倍楽しむ方法

ビジターセンターでの水槽展示が始まったのが2002年3月。もう一度来たいと思っていただけるように、毎月水槽のレイアウトや生きものを換えています。

そこで今回は、水槽で見られるちょっと不思議な生きもの、よ〜く見ると発見できること、飼育していて知ったことなど、おもしろネタを紹介いたします。これさえ知っていれば、ビジターセンターの水槽が10倍楽しくなる間違いなしです。



展示水槽の様子

## その1

### ルソンヒトデの腕が...

昨年7月に採集して飼育展示していた“ルソンヒトデ”。ある朝、水槽を見ると腕が1本、体から離れていました。不思議に思っているとさらに2本が体から離れ、初めは7本あった腕が4本しか残っていませんでした。どうやらこのルソンヒトデは自分の腕を自ら切断し、その腕から新しく体が再生される無性生殖をしているようです。自切した3本の腕は順調に再生され、切断面からは口や小さな腕も見え始めています。もう少し成長すると彗星のように星が尾を伸ばした姿が見られそうです。



元のルソンヒトデ



切れたルソンヒトデ

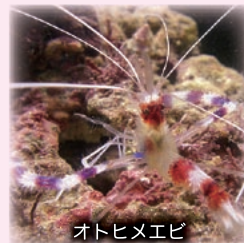


切れた脚の拡大

## その2

### エビの腕が復活...

水槽の中にはいろいろな種類のエビが飼育されています。その中で一番の人気は“オトヒメエビ”。ハサミや脚、触角がとても長くスタイル抜群です。そんなオトヒメエビですが、魚にちょっかいを出されてかハサミが取れてしまう事がよくあります。しかし！そのハサミが生えてくるんです。しかも一回の脱皮です。まるで、ハンカチを取ると中からものが飛び出すマジックのように！エビが生き抜くために当たり前の事なのかもしれませんが、すごいです。



オトヒメエビ

## その3

### 一匹のウミウシなのに...

とても色鮮やかなウミウシも水槽の人気者です。大きなウミウシを水槽で飼育していると、螺旋状にリボンで花びらを作ったような卵を産む事がよくあります。仲間がいないので受精されていないのかと思うのですが、なぜか卵は分裂を繰り返し、ヴェリジャー幼生と呼ばれる段階まで成長します。中には何度も産卵する種類もあります。ウミウシは雌雄同体でオスでもありメスでもあります。しかし基本的に自家受精はしないとされているのですが、何故受精卵を産むのでしょうか？もしかして採集する前に交配した精子を保管していて、何度も受精卵を産む事ができるのでしょうか？謎の多い生きものです。



ウミウシの卵塊

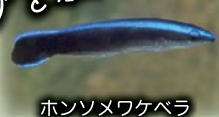


ウミウシの産卵（ガラス面）

## その4

### フグとホンソメの仲...

他の魚の寄生虫を食べてくれるホンソメワケベラは水槽の中のお医者さん。診察してもらいたい魚達はヒレを広げてホンソメワケベラに近づいていきます。しかし、シマキンチャクフグはどうやらこのホンソメワケベラが苦手なようです。近づいて来るなり、体をくねらせ怒ります。以前飼育していたシボリキンチャクフグも同じような行動をとっていました。小さなフグの仲間はホンソメワケベラが嫌いなののでしょうか？ぜひ観察してみてください！



ホンソメワケベラ



シマキンチャクフグ

## その5

### 他にもたくさん...

「朝、水槽を掃除する度に我が家を壊されてしまい、毎日毎日家の補修工事をしているアカハチハゼ夫婦」「ガラスに張り付いているので食事風景が見られるいろいろなウニ、ウニって歯が何本あるか知ってる？」「背ビレが他の魚とちょっと違うサラサゴシ、ほうき担いできれいな好き？」「時々死んだように縮んでしまうサンゴイソギンチャク。縮んだ時はクマノミがあたふたしています。ちなみにこのイソギンチャクも分裂します。」「夕方になると砂のベッドに潜り込む、ベラの仲間たち」「ご飯の時だけ顔を出すミサキウバウオ」などなど。

ここでは紹介しきれない事がたくさんあります。解説員をつかまえて聞いてみよう！



# 八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今年1回目の調査は1月9日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成23年第1回）参加者：菊池昭、黒田、VC 菊池

| NO. | 和名（島名）     | 状態      | NO.                                                       | 和名（島名）     | 状態      |
|-----|------------|---------|-----------------------------------------------------------|------------|---------|
| 草本  |            |         | 木本                                                        |            |         |
| 1   | アオツツラフジ    | 熟した実    | 6                                                         | シマクサギ      | 実が残る    |
| 2   | アオノクマタケラン  | 熟した実    | 7                                                         | アオキ        | 若い実     |
| 3   | アキノノゲシ     | 花と実     | 8                                                         | モクレイシ      | 割れた実と蕾  |
| 4   | アシタバ       | 実       | 9                                                         | マンリョウ      | 熟した実    |
| 5   | アツバスマレ     | 花       | 10                                                        | テイカカズラ     | タネが落ちる  |
| 6   | イガガヤツリ     | 実       | 11                                                        | オオバヤシャブシ   | 実       |
| 7   | イヌホオズキ     | 実       | 12                                                        | マサキ        | 実       |
| 8   | イワニガナ      | 花       | 13                                                        | ハチジョウイボタ   | 実が残る    |
| 9   | ウスベニニガナ    | 花と実     | 14                                                        | サカキカズラ     | 蕾       |
| 10  | オオアレチノギク   | 花       | 15                                                        | ヤブツバキ      | 花       |
| 11  | オニタビラコ     | 花       | 16                                                        | ハチジョウキブシ   | 花芽      |
| 12  | カタバミ       | 花       | 17                                                        | トベラ        | 割れた実    |
| 13  | コシロノセンダングサ | 花と実     | シダ植物                                                      |            |         |
| 14  | コスミレ       | 花       | 1                                                         | イシカグマ      |         |
| 15  | シチトウスミレ    | 花       | 2                                                         | イノデ        |         |
| 16  | スズメノカタビラ   | 花       | 3                                                         | ウチワゴケ      |         |
| 17  | セイヨウタンポポ   | 実       | 4                                                         | オオイタチシダ    |         |
| 18  | ツルソバ       | 花と実     | 5                                                         | オオタニワタリ    |         |
| 19  | ツルマオ       | 実       | 6                                                         | オニヤブソデツ    |         |
| 20  | ツワブキ       | 花       | 7                                                         | カニクサ       | 胞子葉が目立つ |
| 21  | ノコンギク      | 実       | 8                                                         | コハシゴシダ     |         |
| 22  | ハキダメギク     | 花       | 9                                                         | タチクラマゴケ    | 紅葉が目立つ  |
| 23  | ハチジョウアザミ   | 実       | 10                                                        | タチシノブ      | 胞子葉も残る  |
| 24  | ハナイバナ      | 花       | 11                                                        | タマシダ       |         |
| 25  | ハハコグサ      | 花       | 12                                                        | ナチシケシダ     |         |
| 26  | ヒナギキョウ     | 実       | 13                                                        | ノキシノブ      |         |
| 27  | ヒメクグ       | 実       | 14                                                        | ハチジョウカナワラビ |         |
| 28  | フウトウカズラ    | 実       | 15                                                        | ハチジョウシダ    |         |
| 29  | ヘクソカズラ     | 実が残る    | 16                                                        | ハチジョウベニシダ  |         |
| 30  | ムラサキカタバミ   | 花       | 17                                                        | ヒトツバ       |         |
| 31  | ヤクシソウ      | 花       | 18                                                        | ホラシノブ      |         |
| 木本  |            |         | 19                                                        | マツバラソ      |         |
| 1   | ホルトノキ      | 実が残る    | 20                                                        | マメツタ       |         |
| 2   | ヒサカキ       | 蕾       | 21                                                        | ミゾシダ       |         |
| 3   | ヤツデ        | 若い実     | 今回はシダ植物 21 種を含む 69 種の植物を観察しました。冬枯れの季節ですが葉が残っている落葉樹もありました。 |            |         |
| 4   | スダジイ       | 虫こぶが割れる |                                                           |            |         |
| 5   | イヌビワ       | 実       |                                                           |            |         |

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、水槽でも飼育している「クマノミ」にスポットを当ててみたいと思います。



## クマノミ

## *Amphiprion clarkii*

スズメダイ科の魚。生まれた時はすべて雄であり、雌への性転換をします。また、イソギンチャクと共生をする事はよく知られ、島ではサンゴイソギンチャクやイボハタゴイソギンチャクと共生しています。クマノミの仲間は日本では6種類見られますが、八丈島ではこのクマノミ1種類だけしか見られません。

ビジターセンターの水槽では常時展示をしています。

# 2011 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。  
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

| 日                                  | 月                                  | 火                                  | 水                                  | 木                                  | 金                                  | 土                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
|                                    |                                    | 1                                  | 2 ●                                | 3                                  | 立春 4                               | 5<br>ガイドウォーク                         |
|                                    |                                    | 05 : 17 10 : 28<br>15 : 41 22 : 37 | 05 : 41 10 : 59<br>16 : 22 23 : 09 | 06 : 03 11 : 27<br>17 : 00 23 : 39 | 06 : 24 11 : 55<br>17 : 35         | 06 : 45 00 : 08<br>18 : 09 12 : 23   |
| 6<br>ガイドウォーク                       | 7                                  | 8                                  | 9                                  | 10                                 | 11<br>ガイドウォーク                      | 12<br>ガイドウォーク                        |
| 07 : 05 00 : 35<br>18 : 44 12 : 53 | 07 : 26 01 : 01<br>19 : 20 13 : 25 | 07 : 47 01 : 26<br>19 : 58 14 : 00 | 08 : 09 01 : 50<br>20 : 42 14 : 40 | 08 : 31 02 : 12<br>21 : 40 15 : 28 | 08 : 55 02 : 34<br>23 : 27 16 : 34 | 02 : 54<br>09 : 27 18 : 04           |
| 13<br>ガイドウォーク<br>植物公園<br>季節調査会     | 14                                 | 15                                 | 16                                 | 17                                 | 18 ○                               | 雨水 19<br>ガイドウォーク                     |
| 10 : 37 19 : 32                    | 03 : 56 08 : 16<br>12 : 59 20 : 39 | 04 : 19 09 : 26<br>14 : 25 21 : 30 | 04 : 45 10 : 05<br>15 : 24 22 : 14 | 05 : 12 10 : 40<br>16 : 15 22 : 55 | 05 : 39 11 : 15<br>17 : 03 23 : 34 | 06 : 07 11 : 51<br>17 : 50           |
| 20<br>ガイドウォーク                      | 21                                 | 22                                 | 23                                 | 24                                 | 25 ●                               | 26<br>ガイドウォーク<br>八丈学講座<br>「八丈の春を探そう」 |
| 06 : 33 00 : 11<br>18 : 38 12 : 28 | 06 : 59 00 : 46<br>19 : 27 13 : 07 | 07 : 25 01 : 19<br>20 : 18 13 : 49 | 07 : 49 01 : 49<br>21 : 18 14 : 36 | 08 : 14 02 : 16<br>22 : 43 15 : 32 | 02 : 39<br>08 : 41 16 : 47         | 09 : 16 18 : 31                      |
| 27<br>ガイドウォーク                      | 28                                 |                                    | この色の日は<br>特別行事があります                |                                    |                                    |                                      |
| 04 : 00 06 : 47<br>11 : 08 20 : 04 | 04 : 06 09 : 13<br>13 : 42 21 : 03 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                      |

## イベントプログラム

### 植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

2 / 13 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

### 八丈学講座

#### 「八丈の春を探そう」

毎月行っている八丈学講座。今月は、ホテル水路周辺へ春を探しに行きます。

2 / 26 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

## ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

## 東京都八丈ビジターセンター 2011.2.1 第117号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

## 編集後記

それにしても世の中には不思議な生きものがたくさんいますね。不思議だと思っているのは私たちだけで、その生きものたちには当たり前。人は人に置き換えてすべて見てしまう」もっと脳を柔らかくしないとイケないですね。(高)